



製剤種差検討会

「製剤設計における種差の問題検討会」

第2回事例報告会

日時：2017年1月13日（金）10:00～17:50
会場：キャンパスプラザ京都 4階第3講義室

2016年9月8日の第1回事例報告会（東京大学）に引き続き、第2回を京都で開催しました。36団体から77名もの方が出席されました。事例報告や総合討論では、討論時間が足りなくなるぐらい白熱した議論が交わされ、盛況のうちに終えることができました。



▲代表世話人あいさつ
原島秀吉先生
(北海道大学大学院)



▲杉田勝二先生
(塩野義製薬)



▲村野美佳先生
(大日本住友製薬)

事例報告① 杉田勝二先生

・経口油性製剤設計時のバイオアベイラビリティ評価における種差

事例報告② 村野美佳先生

・イヌを用いた製剤評価と種差の壁
—胃酸調整法の新しい考え方—

事例報告③ 石田竜弘先生

・ABC現象における種差



▲石田竜弘先生
(徳島大学)



▲平林英樹先生
(武田薬品工業)



▲藤堂浩明先生
(城西大学)

事例報告④ 平林英樹先生

・ヒト体内動態予測における動物モデルの選択と活用
—ヒト肝キメラマウスの有用性と活用法の検証—

事例報告⑤ 藤堂浩明先生

・外用剤の製剤設計における動物種差の問題

多くの参加者から積極的な意見や質問が寄せられ、活発な議論が交わされました。



情報交換会では交流の輪が広がりました



第3回事例報告会は6月30日（金）に開催予定です（開催地：東京の予定）。

レイアウト：
池田幸弘(武田薬品工業)
衛藤佑介(小野薬品工業)